

つなげよう!
まおう! あおもりのかわとみち



青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

ご意見は
こちらまで

平成22年 1月12日(水) 第155号

十三湖と岩木川の自然環境を考える

平成22年度 河川生態学術研究会岩木川グループ発表会

近年、河川が本来持っている自然環境の役割を見直し、河川管理のあり方を再検討しようとする気運が高まってきております。そこで河川管理者(国土交通省)は、これまで不足している生態学の知見を補うことと、幅広い研究成果を取り入れる事により、自然環境にも配慮した多様性のある河川管理の実現へ向けた河川行政を展開する事としております。

全国的には平成7年度から多摩川と千曲川で研究が始まったのを皮切りに、当研究会は全国6河川目で、東北地方初として平成18年度に学識経験者を中心とした「河川生態学術研究会岩木川研究グループ」が発足し、調査研究(H18~H22の5年間の予定)が開始されました。

岩木川での主な研究内容は、

- ・十三湖の汽水環境、物質循環、食物網の調査研究。
- ・広大なヨシ原の形成・維持・再生の生態的機能の調査研究。
- ・流域の地形・地質、河川流域環境の歴史的变化の調査研究。となっています。

今年度は研究開始から5年間が経過し一つの区切りの年にあたります。これまでの5年間で行った研究の成果について、下記により発表会を実施することになりましたのでお知らせします。



昨年の発表状況

日時：平成23年1月29日(土) 13:30~17:40

場所：弘前大学 創立50周年記念会館 みちのくホール

弘前市文京町1 0172-39-3490

【発表会プログラム】

- 平成22年度岩木川研究グループ研究概要報告
- セッション1：十三湖の汽水環境、物質循環と食物網の把握
「川の流れに支配される十三湖の生態系」ほか4題
- セッション2：ヨシ原の形成・維持機構、生態的機能の把握
「岩木川河川敷におけるヨシ原の人為攪乱によるヨシ群落への影響」ほか2題
- セッション3：流域の地形・地質、河川構造、河川流域環境の歴史的变化の把握
「縄文時代中期以降の十三湖の地形環境変遷」ほか1題

発表会の詳細は当事務所ホームページのイベント・トピックスでご覧いただけます。
※本研究発表会は、継続教育(CPD)制度のプログラムとして認定されています。

青森河川国道事務所HP <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/>